



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 名糖産業株式会社
コード番号 2207 URL <https://www.meito-sangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 栗本 正直 (TEL) 052-521-7111
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東・名

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,236	10.2	258	—	1,349	49.6	957	64.1
2023年3月期第3四半期	16,549	5.3	△7	—	901	△16.5	583	△87.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,746百万円(923.2%) 2023年3月期第3四半期 463百万円(△81.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	56.64	—
2023年3月期第3四半期	34.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	76,688	48,964	63.8
2023年3月期	70,276	44,637	63.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 48,964百万円 2023年3月期 44,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	6.9	400	320.8	1,500	32.4	1,100	56.9	65.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	17,277,683株	2023年3月期	17,265,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	360,578株	2023年3月期	360,230株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	16,912,235株	2023年3月期3Q	16,900,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の一部に足踏みがみられるものの、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い経済活動の緩やかな回復が続き、雇用や所得環境の改善がみられました。一方、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念、中東情勢の影響などによる海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、原材料価格・エネルギーコストの高騰などに起因する商品価格の上昇が続き、消費者の生活防衛意識が高まるなど、企業にとって厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、おいしさ・たのしさ・健康を追求した高付加価値商品の提供、テレビCMや増量企画などの販売促進策を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて10.2%増の18,236百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定を実施したことなどにより、258百万円となりました。なお、前年同期は7百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業利益の改善に加えて受取配当金が増加したことなどにより、前年同期と比べて49.6%増の1,349百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の特別損失に投資有価証券評価損115百万円を計上したことなどもあり、前年同期と比べて64.1%増の957百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰などにより、一部商品の内容量の変更や価格改定を行いました。主力の菓子部門は、継続してテレビCMなどの販売施策に取り組みましたところ、売上が大幅に伸びて増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズ（大袋）の商品や人気キャラクター“ちいかわ”とコラボした「ちびさく」などのポケットサイズ（個食）の商品も好調に推移したことに加え、受託商品の売上も大きく伸びて増収となりました。また、キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上が拡大して、前年同期を大きく上回りました。そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、主力のパウムクーヘン類は液卵の供給制限により売上が大きく落ちましたが、ゼリー類の売上が大幅に伸長したことなどにより前年同期並みの売上となりました。

粉末飲料部門についても、一部商品の内容量の変更や価格改定を行いました。テレビCMや増量企画などの販売促進活動を実施しました結果、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズやココア類などが順調に売上を伸ばしたことにより増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社商品の売上が減少しましたが、受託商品の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ11.3%増の15,786百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定を実施したことにより第3四半期にて収益性が大幅に改善した結果、前年同期に比べ106.9%増の366百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としており、円安の追い風を受けるなかで精力的な営業活動を展開しました。その結果、脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上は減少しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」が海外市場で売上を伸ばしたことにより前年同期並みの売上となりました。

また、薬品部門につきましては、医療機器材料等で使用される「デキストラン硫酸」の売上が伸長したことなどにより増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ4.0%増の2,238百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や輸出運賃などの販売費が減少したこともあり前年同期に比べ55.2%増の433百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ0.3%減の212百万円となり、営業利益は減価償却費等の営業費用の増加などにより前年同期に比べ3.0%減の74百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,412百万円増加し、76,688百万円となりました。これは主に、投資有価証券が株価の上昇により増加したことや機械装置及び運搬具が新小牧工場の稼働により増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、2,085百万円増加し、27,724百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,326百万円増加し、48,964百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、63.8%（前連結会計年度末63.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

当該予想の修正に関する事項は、本日（2024年2月9日）発表の「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,251	5,877
受取手形及び売掛金	5,281	6,859
有価証券	3,000	550
商品及び製品	1,317	1,323
仕掛品	539	660
原材料及び貯蔵品	1,434	1,719
その他	1,211	258
貸倒引当金	△2	△9
流動資産合計	17,033	17,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,257	9,250
機械装置及び運搬具（純額）	4,739	6,763
その他（純額）	4,906	4,426
有形固定資産合計	18,903	20,441
無形固定資産	83	126
投資その他の資産		
投資有価証券	33,815	38,432
その他	468	475
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	34,255	38,879
固定資産合計	53,242	59,447
資産合計	70,276	76,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,138	3,309
短期借入金	100	1,050
1年内返済予定の長期借入金	765	765
未払法人税等	14	124
その他	3,850	3,413
流動負債合計	7,868	8,662
固定負債		
長期借入金	9,844	9,270
繰延税金負債	4,678	6,490
役員退職慰労引当金	21	9
固定資産撤去費用引当金	92	92
退職給付に係る負債	2,752	2,856
その他	380	341
固定負債合計	17,770	19,062
負債合計	25,639	27,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,323
資本剰余金	76	86
利益剰余金	28,931	29,449
自己株式	△687	△688
株主資本合計	29,633	30,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,928	18,773
退職給付に係る調整累計額	74	18
その他の包括利益累計額合計	15,003	18,792
純資産合計	44,637	48,964
負債純資産合計	70,276	76,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	16,549	18,236
売上原価	12,778	14,228
売上総利益	3,771	4,008
販売費及び一般管理費		
販売促進費	22	23
運送費及び保管費	1,353	1,342
給料手当及び賞与	1,180	1,214
退職給付費用	75	30
役員退職慰労引当金繰入額	2	3
貸倒引当金繰入額	15	7
減価償却費	67	63
その他	1,061	1,064
販売費及び一般管理費合計	3,778	3,749
営業利益又は営業損失(△)	△7	258
営業外収益		
受取利息	8	2
受取配当金	792	924
投資有価証券売却益	-	121
持分法による投資利益	40	41
企業立地奨励金	106	95
その他	40	47
営業外収益合計	988	1,232
営業外費用		
支払利息	28	26
固定資産除売却損	43	110
その他	7	5
営業外費用合計	79	142
経常利益	901	1,349
特別利益		
関係会社株式売却益	-	29
投資有価証券売却益	130	-
特別利益合計	130	29
特別損失		
投資有価証券評価損	115	-
減損損失	98	-
固定資産撤去費用引当金繰入額	31	-
特別損失合計	244	-
税金等調整前四半期純利益	787	1,378
法人税、住民税及び事業税	42	248
法人税等調整額	161	172
法人税等合計	203	420
四半期純利益	583	957
親会社株主に帰属する四半期純利益	583	957

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	583	957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	3,844
退職給付に係る調整額	5	△56
その他の包括利益合計	△119	3,788
四半期包括利益	463	4,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463	4,746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,185	2,151	212	16,549	—	16,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,185	2,151	212	16,549	—	16,549
セグメント利益	177	279	76	533	△540	△7

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては98百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,786	2,238	212	18,236	—	18,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,786	2,238	212	18,236	—	18,236
セグメント利益	366	433	74	874	△615	258

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。